



リサイクルでつなくサステナブルな未来

協 ニュース

99

MAY 2025

Go to the
**CE
CITY**

サーキュラーシティ探訪

川崎

- INDEX
- 1 PICK UP 海がつなく食品ボトル水平リサイクルの縁と円
 - 3 Go to the CE CITY サークラーシティ探訪
 - 5 インタビュー SDGSアクション
 - 6 明日、誰かに話したくなる pnnのプラのなぜ？なに？
 - 7 容リSTUDIES 容リ協HPリニュアル使い方ガイドとコンテンツ紹介
 - 9 容リSTATION 協会の主な取り組み内容をご紹介します
 - 11 ecoワードパスル



KAWASAKI

今号の
PICK UP!

CLOMAのサポートのもと、
味の素・キューピーが
協働でマヨネーズボトルの
資源循環に向けた
取り組みを開始



PICK UP

海がつなぐ食品ボトル

海洋プラスチックごみ問題の解決に向けプラスチック製品の持続可能な企業は、およそ500社。海を守りたいという同じ志のもと多種多様な

使用済みマヨネーズボトルの資源循環に向けて3社が協働



味の素株式会社、キューピー株式会社、アマタ株式会社



回収対象となった商品例。両社で国内マヨネーズ市場の約7割を占めています。

実はリサイクル適性が高いマヨネーズボトル

資源循環の取り組みには、時に企業の垣根を越えたライバル同士の連携も重要です。マヨネーズ国内市場の2大メーカー・味の素(株)とキューピー(株)、および環境問題など社会課題の解決を事業とするアマタ(株)が協働で行う使用済みマヨネーズボトルの回収・水平リサイクルの実証実験もそのひとつ。

マヨネーズボトルは、バリア層以外はほぼポリエチレン(PE)という単一素材で製造されています。ペットボトルと同様にリサイクル適性は比較的高いのですが、食品由来の汚れ・においの問題があることや回収の仕組みがないこと、洗浄方法や衛生面の基準も定まっていないことから、ペットボトルのような水平リサイクルの仕組みが実現していないのが現状です。水平リサイクルを実現させるためには、使用済みマヨネーズボトルの効率的な回収と再びボトルに再生する技術を確認する必要があります。

「味の素社、キューピー社、アマタ社は海洋プラスチックごみ問題の解決に取り組む企業連合『CLOMA』に参画しています。そこでプラスチックのマテリアルリサイクルを促進するためのワーキンググループに所属して、回収品目の選



(右から)味の素(株) コーポレート本部 サステナビリティ推進部 環境グループ長 島淳人氏、キューピー(株) 広報・サステナビリティ本部 サステナビリティ推進部 環境チーム 田頭祐介氏。

定や回収拠点の検討を進めていました。そのなかで、汚れの少ない冷凍食品や紙おむつの外袋と並んで回収対象に挙げられたのがマヨネーズボトルでした。食品ボトルのなかでも、マヨネーズは色移りやにおい残りなどのリスクがなくリサイクル適性がより高いんです」(島淳人氏)

実際のボトル回収実験は、神奈川県川崎市のイトーヨーカドー 溝ノ口店で2024年7月からスタートしています。

「使用済みボトルを回収する場合、必ず自治体の認可が必要となるのですが、協力自治体として川崎市にて試験研究を実施させていただけることになったので、同市が推進するプラスチック資源循環をめざすプラットフォーム『かわさきプラスチック循環プロジェクト(かわプラ)』の一環として実証実験を始めました」(島氏)



親しみやすい
デザインの回収
ボックスを設置中



実際の回収ボックスは「脱炭素アクションみそのくち」を展開するイトーヨーカドー 溝ノ口店に設置されています。



フタとシールを外したボトルに水を1/3入れて振り洗いし、ハサミで半分に切ってスポンジで洗浄、乾燥させてから回収ボックスへ投入。

マヨネーズボトルの洗い方と回収BOXへの出し方

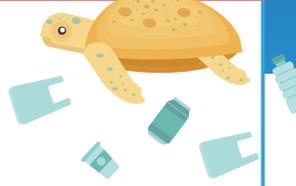
1	フタとシールをはがす	2	水を1/3入れて、振って洗う	3	ハサミで半分に切り、スポンジで洗う	4	乾燥させ、マヨネーズボトルのみ回収BOXに入れる
---	------------	---	----------------	---	-------------------	---	--------------------------

水平リサイクルの縁と円

使用につながる3Rの新たな取り組みや、代替素材の開発・導入を推進する「CLOMA」に賛同企業が手を取り合い、プラスチックの循環に取り組んでいます。



クロマ



クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス「CLOMA」 海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて連携

「CLOMA」の設立は2019年1月。G20大阪サミットを前に経産省の後押しもあり、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて159の企業・団体*が集まりスタートしました。

「CLOMAでは今の制度下で実現可能かどうかではなく、バックキャスト(逆算)で物事を考えるのが基本。理想の世界を実現するためには何が必要なのか、どういった仕組みが必要なのか、課題を見つけます。実現不可能にチャレンジしなくては社会イノベーションを起こせませんからね」(柳田康一氏)

その変革を持続可能にするには、単なる社会貢献ではなく、企業の本業でいかにSDGsに貢献していくかも重要。CLOMAの活動の背景にビジネスがあるからこそ、形だけでは

ない真の連携が生まれるのだといいます。

「マヨネーズボトル水平リサイクルにしても業界を代表する企業がタッグを組むということに大きな意味がある。最終的には我々が

社会システムを変える提案で国の制度設計にも貢献していく、そういった成功例を世界に発信していきたいですね」(柳田氏)

* 2025年4月1日現在、465社・団体が加盟



CLOMAが描く未来像をホームページで公開。この姿を実現するイノベーションの加速に取り組みます。
<https://clomacity.net>



CLOMA 事務局次長
柳田康一氏



オンラインで取材に参加されたアミタ(株) サーキュラーデザイングループ 駒井真帆氏。



工場端材を原料に試験制作したフレークとペレット。安全基準をクリアできるかどうか、先行して技術検証中です。



回収ボックスの設置状況

実際に設置されている回収ボックスに投入されたマヨネーズボトルの状況。



ボトル回収の状況



ボトルの展開状況(毎月実施)

「当初、夏場の湿度や異物混入による衛生面への影響を心配していたのですが、うれしいことに杞憂でした。きれいに洗って回収に協力してくれた市民の皆さんの環境意識の高さには本当に感心しました」(田頭祐介氏)

「アミタ社の互助共助コミュニティ型資源回収ステーション『MEGURU STATION[®]』で培ったリサイクルのノウハウやネットワークをマヨネーズボトルの水平リサイクルにおいても活かし、長期的に連携したいと思います」(駒井真帆氏)

回収と並行して、まずはPIR*手法を用いたフレークと

ペレットの試作を実施。今後は回収した使用済みボトルでの技術検証をめざして、回収量を増やすための施策を進めていくとのこと。

「マヨネーズ国内市場の大半を占めている我々2社は、ボトル回収となれば名乗りを上げないわけにはいきません。でも、CLOMAという枠組みがなかったら、この取り組みは始まらなかったでしょう。このきっかけを与えてもらったCLOMAに感謝しています」(田頭氏)

* PIR: 製造工程で工場から排出される端材のリサイクルのこと

Go to the **CE CITY**

サーキュラーシティ探訪

01 神奈川県 / 川崎市

100%プラリサイクル

自治体が進める独自の実証実験や、地域住民・企業・団体と協働した循環型社会のプロジェクトを紹介する新企画。第1回は環境都市として生まれ変わった川崎市の先進的なプラスチックの循環プロジェクトにスポットを当てていきます。

プラスチック資源循環をめざすプラットフォーム 「かわさきプラスチック循環プロジェクト(愛称:かわプラ)」

今回訪れたのは、2024年に市制100周年を迎えた川崎市。国内では大阪市に次いで人口密度が高い一方、市民一人当たりのごみ排出量は729.5gと全国で一番少ない政令指定都市です。高度経済成長期には“公害のまち”と揶揄されたこともあります。市民、企業、行政の連携と努力によって大きく環境が改善し、1997年には国内第1号の「エコタウン」地域に認定されています。環境産業も盛んで、臨海地区には古紙や廃棄金属などを扱うさまざまな事業者や、国内最大級のプラスチックリサイクル拠点があります。100%プラリサイクル都市の実現をめざす同市は、2022年4月に「かわさきプラスチック循環プロジェクト(かわプラ)」を起ち上げています。

「市長がマニフェストとして掲げた100%プラリサイクル都市を実現するため、3年前に始めたのが『かわプラ』です。これは市民や企業、行政が実施しているいろいろなプラスチック循環、あるいは拠点回収の取り組みを連携して推進し、そこにかかわるあらゆる主体が集うプラットフォームです。参画企業6者でスタートしましたが、2025年1月現在で21者に増え、さらに『かわプラ』の取り組みを知った事業者から相談を受ける機会も増加しています」(稲垣厚之氏)

「かわプラ」設立当初から続くペットボトルの水平リサイクルを筆頭に、多様な取り組みが展開中ですが、なかでも川崎市ならではの取り組みと言えるのが、使用済みプラスチックのケミカルリサイクルでしょう。



「サーキュラーエコノミーの取り組みがビジネスとして成立するのが理想」と語る川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当 課長補佐(取材時)稲垣厚之氏。

川崎臨海部は国内最大級のプラスチックリサイクル拠点が集積

ペットボトルリサイクル能力 市内年間排出量の約 7倍	プラ製容器包装のリサイクル能力 市内年間排出量の約 14倍
--------------------------------------	---

(株)レゾナック 扇町
●ケミカルリサイクル

J&T環境(株) 水江町
●マテリアルリサイクル

(株)Jサーキュラーシステム 水江町
●マテリアルリサイクル
●ケミカルリサイクル
●ソーティング(選別)

ペットリファインテクノロジー(株) 扇町
●ケミカルリサイクル

JFEプラリソース(株) 水江町
●マテリアルリサイクル
●ケミカルリサイクル



「かわプラ」では、使用済み詰め替えパウチやボトル(左)、哺乳びんの回収・リサイクル(中)のほか、海洋プラスチックごみの回収・ガス化リサイクル(右)など、さまざまな実証実験を実施しています。

都市の実現をめざす「かわプラ」の挑戦

(株)レゾナックの工場にそびえたつ使用済みプラスチックをケミカルリサイクルする画期的なプラント。ここで廃プラがアンモニア、水素、炭酸ガスに再生されています。



アンモニアからできるもの

- アクリル繊維原料
- ナイロン繊維原料
- 窒素系肥料
- 接着剤原料クリア系樹脂 (MMA)
- NOx 無害化剤



炭酸製品

- 炭酸
- ドライアイス



KPR事業(使用済みプラスチックのアンモニア原料化事業)に親しみを持ってほしいと社員によって生み出された「けびあ」を手にする(株)レゾナック 基礎化学品事業部企画部 プラスチックケミカルリサイクル推進室 室長 伊東浩史氏。

使用済みプラスチックを燃やさず製品に蘇らせるケミカルリサイクルには、油化や高炉還元剤化、コークス炉化学原料化、ガス化の4つの手法があります。海洋プラスチックごみのリサイクル実証実験で「かわプラ」と連携した(株)レゾナックでは、異物を取り除き受け取ったプラスチックごみのほぼ全量を高温で分子レベルまで分解してガス化し、アンモニア、水素、炭酸ガスなどにリサイクルしています。

「実はアンモニアは肥料となって“食”を支えているほか、合成繊維や合成樹脂、薬品といったものの原料となるなど、生活になくてはならないものなんです。また、水素は化学原料や燃料に、炭酸ガスも飲料やドライアイスとして無駄なく再利用。各家庭から排出されるプラスチックは、こうした身近なものにリサイクルされています」(伊東浩史氏)

臨海部に環境産業が集積している川崎だからこそといえる「かわプラ」の挑戦。産業再生、都市再生、環境再生を実現する「スマートコンビナート」の先進事例としても注目です。



Online Interview

川崎市立川崎高等学校

「プラスチックバスターズ」

活動③

川中島小学校わくわくプラザ
かわプラやゴミ分別の大切さについて知ってもらおう



市内の小学校では劇にしたりクイズにしたりと、子どもたちにもわかりやすく「かわプラ」の取り組みやゴミ分別の大切さを伝えました。



(前列左から時計回りに)ゼミ長の安藤さくらさん、ゼミ生の佐藤優帆さん、城条真乃さん、浅野陽輝さん。

若い世代の間でも「かわプラ」の活動に賛同してくれる人がいます。市立川崎高校2年(取材時)「谷ゼミ」の皆さんは、プラスチックごみの削減や分別・リサイクルの促進をめざし「プラスチックバスターズ」を名乗って活動しています。その一環として、川崎市の小学校や川崎市市制100周年記念イベントで「かわプラ」の周知活動も行っています。

オンライン取材でも「以前からコンビニでペットボトルを回収していることは知っていましたが、それに『かわプラ』がかかわっていると知って驚きました」「市内で回収したプラスチックを市内で再生する循環の輪が川崎にあるのがとても誇らしいです」と口々に「かわプラ」への想いを語ってくれました。

100%プラリサイクルの中核を担うスーパーソーティングセンター

2024年10月よりケミカルリサイクル原料製造ラインを先行稼働していた使用済みプラスチックリサイクル施設「川崎スーパーソーティングセンター」の高度選別ラインが完成し、4月より本格稼働を開始しました。当社の出資者でもあるJR東日本グループの事業から排出される使用済みプラスチックの再資源化はもとより、近隣自治体や企業からも受け入れ、マテリアル、ケミカル双方のリサイクルを推進します。

2022年4月1日に「プラ法」が施行され、プラマークの付いたプラスチック製の容器や包装だけ

ではなくハンガーなど幅広いプラスチック製品もリサイクル対象となり、今まで以上にプラスチックごみリサイクルへのニーズが高まりました。そのため、一日当たり200tの使用済みプラスチックの処理が可能な当施設への期待も大きく、30以上の自治体や100を超える企業から問い合わせが相次いでいます。

ここでは、ご家庭できちんと分別された一般廃棄物のプラごみだけでなく、未分別の産業廃棄物も含めて選別から再商品化を一貫して行い、仕分けできないためにこれまで焼却処理されていた使用済みプラスチックを再資源化します。近赤外線による光学選別や磁力選別といったさま

“社会問題となっているプラごみですが、仕分けさえきちんとできれば資源にもエネルギーにもすることができます。消費者の皆さまも分別など、できることから協力していただければ、少しずつでも解決に向かうはずですよ”



中村 佐三氏

株式会社Jサーキュラーシステム 代表取締役社長



新設された「Jサーキュラーシステム 川崎スーパーソーティングセンター」。国内第1号の認定を受けた「川崎エコタウン」内に立地し、臨海部における高い企業集積と環境技術の集積を活かしてリサイクル事業者との連携による「地域連携資源循環」の実現をめざす。

さまざまな高度選別技術を用いて使用済みプラスチックを仕分け、単一素材プラスチックは再生ペレットや成型品にマテリアルリサイクル。さらに、複合素材や熱硬化性樹脂といったプラスチックはケミカルリサイクル原料製造ラインに送ります。ケミカルリサイクル原料製造ラインでは異物を取り除いたあと固形化し、コークス炉化学原料化やガス化などプラスチックを化学的に分解・再利用するケミカルリサイクルにより再生します。既存技術を活用した二つのラインを組み合わせることで、より効率的なリサイクルを実現しています。

マテリアルリサイクルを担うJFEプラリソース社やケミカルリサイクルを担当するレゾナック社など、リサイクラーが集結するこの臨海地区でハブ機能を担い、川崎市をはじめ近隣地域で集めたものを地産地消するという「かわプラ」の実現に貢献していきます。

株式会社Jサーキュラーシステム●事業活動から生じた廃棄物を循環させる事業コンセプト『UPCYCLING CIRCULAR』を2024年7月に策定したJR東日本グループのJR東日本、(株)JR東日本環境アクセスと、廃棄物リサイクルの知見を持つJ&T環境(株)が共同設立。2025年4月、川崎臨海部にて首都圏最大級となるプラスチックリサイクル施設を本格稼働開始。



「行動の10年」(Decade of Action)は、貧困やジェンダーから気候変動、不平等、資金不足の解消にいたるまで、世界の最重要課題すべてについて、持続可能な解決策を加速度的に講じることを求めています。

明日、誰かに話したくなる



基

本のキ

プラのなぜ?なに?

プラスチックの基本と、あっと驚く雑学ネタをご紹介します。
プラスチックやリサイクルについての知識や興味を深めて
地球にやさしい“循環する暮らし”を。



驚

き

廃プラって どう生まれ変わるの?

プラのリサイクル方法は3つに分けられます。広く知られているのが「マテリアルリサイクル」。廃プラを溶かして再生する手法で、パレットなどに生まれ変わります。次に化学反応を利用して分解し、化学原料に変換するのが「ケミカルリサイクル」。繊維製品や肥料などにも利用されます。焼却する際の熱エネルギーを発電などに利用する「サーマルリサイクル」もありますが、マテリアル・ケミカルリサイクルは、CO₂削減効果があるため、しっかり分別して貢献しましょう。



マテリアルリサイクル

- リサイクル例
- パレット
 - プランター



ケミカルリサイクル

- リサイクル例
- 繊維製品
 - 肥料



サーマルリサイクル

- リサイクル例
- 発電
 - 熱利用



リサイクルごみとして出す

燃えるごみとして出す

廃プラ

微生物の力でごみから 化粧品容器が誕生!?

毎日たくさん利用されるプラは、形や成分がバラバラなため、混合して廃棄されるとほとんどがサーマルリサイクルや埋立に…。そこで積水化学工業(株)は、不ぞろいで扱いづらい混合プラごみをそのまま、微生物の力を借りることでエタノールに変える方法を開発。このエタノールはプラの最小単位の一つであるエチレンモノマーに変換でき、さまざまなプラ製品へと再生できます。この技術を活用して(株)資生堂、住友化学(株)と共に、多様なプラが使われる化粧品容器をまた化粧品容器に再生する循環モデルの実現に着手。ヒトも環境も美しくしてくれる化粧品容器が誕生しそうです。



岩手県久慈市にあるプラント。ここで微生物を活用し
プラごみをエタノール化する実証実験が行われています。

画像提供：積水化学工業株式会社



COLUMN

それゆけ! 元プラ調査隊

プラスチックから生まれ変わった
モノを我々は絶対に見逃さない!



VOL.8

ハンガー

洋服をかけたり、洗濯物を干したりするときに
使うハンガーも元プラのものが流通。どんどん身
近に元プラが感じられるようになっていきます!

3月25日、日本容器包装リサイクル協会のホームページがリニューアルしました。めざしたのは「情報にアクセスしやすいこと」と「消費者の皆さまにも見ていただけること」の二つ。大きく生まれ変わったホームページには、事業者の皆さまに必要な情報はもちろん、年齢や障害の有無にかかわらず、リサイクルについて学べるコンテンツがたくさんあります。「ホームページを訪れた人が何をしたいのか、目的を重視してデザインを決めました」と話す当協会 企画広報部 関澤広樹が、リニューアルの際のさまざまな工夫についてご紹介します。

めざしたのは情報に アクセスしやすいサイト

これまでも当協会のホームページでは、皆さまの役に立つ情報を用意していましたが、情報が多すぎて、知りたい情報にアクセスしにくいという課題がありました。そこで、まずは「情報にアクセスしやすいサイト」をめざし、抜本的にデザインを見直しました。

トップページでは、知りたいことが容易に見つけられるように工夫をしました。ページの上部に「容器包装リサイクル制度」「協会とは」など7つのカテゴリを並べて表示し、知りたいことが直観的に選べるようになっていました。データ類は「ライブラリ」に集約するなどカテゴリごとのコンテンツの割り振りも見直し、情報にアクセスしやすくしました。

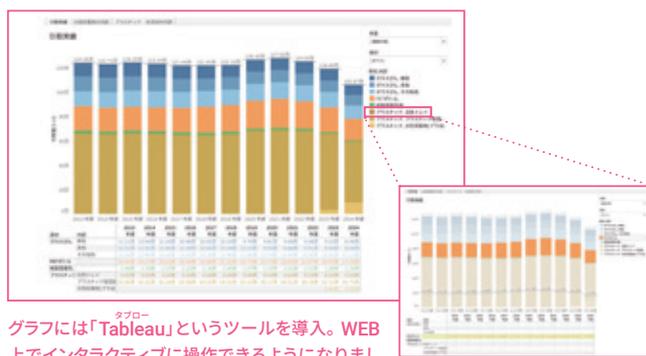
また、私たちが見てほしい情報は「おすすめコンテンツ」として、大きな画像と一緒に掲載。それぞれに「特定事業者の方へ」「再商品化事業者の方へ」「自治体の方へ」「消費者の方へ」と属性を表示し、自分に関係ある情報を見つけやすいようにしています。

どんな方でも使いやすいサイトにするため、アクセシビリティ対応方針を定め、JIS X 8341-3:2016「レベルA」に準拠。年齢、障害の有無にかかわらず見やすいサイトづくりを心がけました。読みやすい色だけを使ったり、聴力の弱い方のために動画に字幕をつけたり、また目の不自由な方向に読み上げソフトへの対応もしました。



トップページ上部のメニューはクリックで展開するので、どんなコンテンツがあるのか視覚的に理解しやすくなりました。AIサーチサービスを用いた「サイト内検索」も導入しています。

スマホやタブレットに適した表示にも対応しました。



グラフには「Tableau」というツールを導入。WEB上でインタラクティブに操作できるようになりました。最近の年度だけやPETボトルだけといった選択ができ、自分が見たい形で情報を得られます。

スマホやタブレットの幅に合わせて画面の表示幅が変わるレスポンシブデザインにもなっているので、どんな端末からでも読みやすいサイトになりました。以前からあった英語ページも見直し、海外の方が興味を持った場合にもわかりやすく情報提供できるようにしています。

「普及啓発コンテンツ」を追加

当協会は、資源循環社会をめざすうえで大切な役割を担っています。しかし、まだまだ十分に知られているとはいえません。そこで、事業者の皆さまだけでなく、消費者の皆さまにもサイトを見ていただけるよう、暮らしに役立つ「普及啓発コンテンツ」も強化しました。「リサイクルしたものが何になるのか」について理解を深められる内容で、学校の環境学習の授業にも活用いただけます。

なかでも「環境学習コンテンツ集」には、プラスチックやPETボトル、紙、缶、びんなど、当協会以外にもさまざまなリサイクル団体が公開している学べるコンテンツへのリンクを用意してあり知りたいことがすぐに調べられます。「わたしのまちのリサイクル」など、旧来のコンテンツも見やすく整理したので、ぜひ授業で使っていただきたいですね。

当協会の意義や活動のテーマを伝えるため「未来へつながみんなのリサイクル」というコーポレートメッセージのページには、新たに活動紹介の動画を用意したほか「リサイクラー募集」ページも新設し、資源循環に携わりたい事業者の皆さまに、情報をわかりやすく提供できるようにしています。

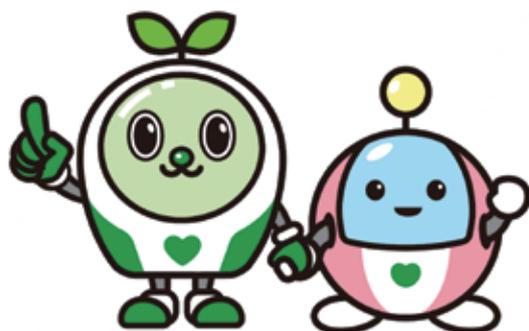
企業活動にも消費者の皆さまの生活にも深くかかわる私たちの活動を、より理解していただけたらうれしいですね。

目的別で情報が探しやすい HPにリニューアルしました



関澤 広樹

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 企画広報部



リクル

ピプル

とっても
物知りなんだ。
リサイクルについて
答えてくれるよ。

みんなが
知りたいことを
リクルに
質問してくれるよ。

ここを CHECK!

新キャラクター「リクル」「ピプル」が案内する
普及啓発コンテンツが充実

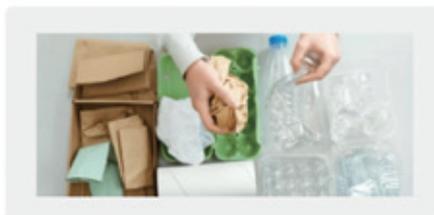
小中学生でも楽しく閲覧できるサイトにリニューアル。学校の授業
でも使えるコンテンツが揃っています。

当協会以外の資源循環関連団体のコンテンツへのリンクも掲載し、それぞれ子ども向けか大人向け
かも表示。学校で習ったことを深掘りして調べられ、宿題や夏休みの自由研究にも便利です。



自分が住んでいるまちのリサイクルの状況
がわかる「わたしのまちのリサイクル」や、
ごみ・資源を出す時の注意点など、ごみや
資源に関する情報を網羅しています。

よくわかる！容器包装のリサイクル



子～大人向け

容リ制度が出来た理由、容器包装と分別ルール、リサイクルの流れを素
材ごとにわかりやすく解説しています。

日本容器包装リサイクル協会

ガラスびんの3Rを詳しく学ぶ

びん助の3R探検



容リ法や3Rに関する活動として開催予定の
セミナーやイベント、フォーラムなどの情報
も適時更新。ぜひチェックしてください！



動画コンテンツのページも充実。協会の活
動を伝える動画のほか、「ただ乗り対策」な
どの動画も新たに作成して掲載しています。

容リ STATION

協会の主な取り組み内容をご紹介します

St.1 「令和7年度落札結果」をホームページに掲載しました

令和7年4月7日、当協会の再商品化事業に係る「令和7年度落札結果」をホームページに掲載しました。

詳しくはこちらからご覧いただけます。



1. 落札単価(加重平均、消費税抜き)

単位：円/トン

		令和7年度	令和6年度	令和5年度	
ガラスびん	合計	12,577	12,318	11,548	
内訳	無色	9,577	8,824	7,810	
	茶色	10,629	10,029	8,881	
	その他色	16,399	16,681	16,140	
PETボトル	上期	-75,438	-49,526	-60,376	
	下期	—	-84,548	-42,648	
	通期	—	-65,208	-52,444	
紙製容器包装		-4,375	-3,368	-2,485	
プラスチック製容器包装 合計		66,081	60,899	59,911	
内訳	白色トレイ	59,334	61,057	62,438	
	白色トレイを除くプラスチック製容器包装	66,084	60,899	59,910	
	内訳	材料リサイクル	67,799	63,131	63,998
		ケミカルリサイクル	60,385	56,895	54,560

※ PETボトル・紙製容器包装の加重平均落札単価の「-（マイナス）」表示は、有償（再商品化事業者から容リ協会への支払）を意味します。上表では逆有償分も含めた加重平均単価を表示しています。

※ プラスチック製容器包装の加重平均落札単価は、プラスチック製容器包装及び分別収集物の中の容リプラの単価を記しています。なお、再商品化計画の認定（プラ法33条）の中の容リプラは含まれていません。

2. 分別収集物の落札単価(加重平均、消費税抜き)

単位：円/トン

	令和7年度			令和6年度			
	総合落札単価	内訳		総合落札単価	内訳		
		容リプラ落札単価	製品プラ落札単価		容リプラ落札単価	製品プラ落札単価	
分別収集物合計	62,887	62,881	62,928	59,832	59,774	60,187	
内訳	材料リサイクル	65,472	65,504	65,258	62,999	63,013	62,900
	ケミカルリサイクル	58,338	58,258	58,872	57,702	57,545	58,603

※ 落札単価に再商品化計画の認定（プラ法33条）の中の容リプラは含まれていません。

分別収集物の落札単価は、材料リサイクルでは容リプラで65,504円/トン、製品プラで65,258円/トン。ケミカルリサイクルでは容リプラで58,258円/トン、製品プラで58,872円/トンとなりました。

落札結果情報の詳細は、協会ホームページよりご確認ください。



St.2 「令和6年度再商品化見通し等報告会」を開催しました

令和7年3月4日、AP虎ノ門会場（東京都港区）とオンラインを併用し「令和6年度再商品化見通し等報告会」を開催しました。本報告会は、各事業委員（ガラスびん、PETボトル、紙製容器包装、プラスチック製容器包装）と総務企画委員を対象とし、令和6年度再商品化事業の総括説明と各素材の再商品化製品販売状況、及び収支の見通しについて説明を行いました。引き続き令和7年度再商品化事業者の落札結果（PETボトルは上期分）、再商品化事業に甚大な悪影響をおよぼすリチウムイオン電池発煙・発火トラブル状況などについて報告し、質疑応答がなされました。令和6年度事業報告書については、令和7年6月中旬に当協会ホームページに掲載予定です。



AP虎ノ門会場の様子

St.3 「第5回リチウムイオン電池トラブル防止に関するマルチステークホルダー検討会合」を開催しました

令和7年3月11日、リチウムイオン電池の混入による発煙・発火トラブル防止対応として、NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット（鬼沢良子理事長）と共催で、「第5回リチウムイオン電池トラブル防止に関するマルチステークホルダー検討会合」を開催しました。生活者、自治体、業界団体、リサイクル関連団体・企業、専門家、国などのステークホルダーに参集いただき、自治体の取組好事例や選別機の最新情報などが共有されました。会場、オンライン合わせ約290名が参加し、活発な意見交換がなされました。



会場の様子

St.4

プラスチック容器事業部による「労働災害防止研修会」を実施しました

令和7年4月17日、プラスチック容器事業部主催による「安全活動の活性化」を目的としたオンライン研修会を開催しました。再生処理事業者を対象に、安全活動のポイントや製造現場における危険箇所と具体例、類似災害事例を紹介し、理解を深めました。また、参加者の現場での悩みや課題、参考となる資料の共有も行われ、皆さんに聴講いただきました。当協会では今後も、安全意識の向上と事故防止に向けた取り組みを継続していきます。



研修会の様子

St.5

「こどもエコクラブ全国フェスティバル2025」へ出展しました

令和7年3月23日、大阪アカデミア・大阪府咲洲庁舎（大阪市住之江区）で、「こどもエコクラブ全国フェスティバル2025」（主催：公益財団法人日本環境協会）が開催されました。各都道府県の代表クラブメンバーである子どもたちやサポーター、後援企業や関連団体465名が参加しました。クラブの活動を壁新聞や絵日記、デジタル作品をもとに発表し合う「エコ活セッション」のあとに、今年は17の企業・団体が参加した「環境への取組み紹介」で当協会は容器包装のリサイクルの仕組みや正しい分別の仕方、重要性を伝えました。子どもたちからは、「何にリサイクルされているのか」「リチウム電池を分けずに捨てるのが火事につながる」ことがよくわかったといった声が聞かれ、リサイクルへの理解を深めてもらいました。



容リ協ブースの様子

新キャラクター「リクル」と「ピプル」が登場しました！

令和7年4月、当協会に新たなキャラクター「リクル」と「ピプル」が登場しました。リクルはリサイクルに詳しく、ピプルは好奇心旺盛です。今後、ホームページや会報、イベントなどで活躍し、啓発コンテンツにも登場予定です。ぜひご注目ください。



リクル

ピプル



容リ協日誌 (令和7年3月～4月)

● 容リ協行事

- 3月6～7日 「令和7年度再商品化事業者説明会」開催（オンライン併用）
- 11日 「第5回リチウムイオン電池トラブル防止に関するマルチステークホルダー検討会合」開催
- 23日 「こどもエコクラブ全国フェスティバル2025」出展
- 25日 ホームページリニューアル
- 4月1日 令和7年度再商品化事業開始



令和6年度 市区町村からの引取実績 再商品化製品販売実績

1. 引取実績

区分	4～3月累計	
	引取量(トン)	前年同期比(%)
ガラスびん	307,869	98.0
内訳	無色	91,260 98.8
	茶色	93,849 97.9
	その他色	122,761 97.4
PETボトル	186,321	90.9
紙製容器包装	13,179	94.8
プラスチック	646,915	98.6
内訳	白色トレイ	289 87.8
	プラスチック製容器包装(容リ法)	541,005 87.1
	分別収集物(プラ法)	105,621 310.6
	うち容リプラ*	92,017 314.2
	うち製品プラ*	13,604 288.3
うち産廃プラ	0	—

※「うち容リプラ」および「うち製品プラ」は組成比率より算出

2. 再商品化製品販売実績

区分	4～3月累計	
	販売量(トン)	前年同期比(%)
ガラスびん	294,606	99.3
内訳	無色	85,466 97.5
	茶色	90,203 99.7
	その他色	118,937 100.2
PETボトル	161,334	91.1
紙製容器包装	12,918	93.2
プラスチック	409,042	94.7
内訳	白色トレイ	276 89.5
	プラスチック製容器包装(容リ法)	338,778 82.6
	分別収集物(プラ法)	69,988 329.4

INFORMATION

「容リ協ニュース」「年次レポート」の

▶ 郵送先変更、郵送停止をご希望の方はこちら



▶ オンライン購読をご希望の方はこちら





eco

ワードパズル

パズル制作／ニコリ



1	8		14		22		29	33
2			15	19			30	
3		11		20		26		
	9		16			27		
4		12			23			
5					21		31	
		13	17			28		34
6	10		18		24		32	
7					25			

問題

ヨコとタテのカギを読んでマス目を埋めよう。
A-Fの文字を並べてできるECOワードはなに？

ルール●●文字はすべてカタカナで、1マスに1文字を入れてください。小さい文字(ヤ、ヨ、ユ、ツなど)は大文字として扱い、長音「ー」は1マスに入れ、濁点・半濁点は取り出さず清音と区別します。

タテのカギ

- 1 入選にはおよばなかったけれど良い作品
- 4 公的ではないプライベートな時間
- 8 野性的なこと
- 10 兄弟姉妹の娘は？
- 11 「かわプラ」では、使用済みの〇〇〇〇〇のボトル回収の実証実験も行ってます
- 14 ギリギリの境目
- 16 京都のお茶の名産地
- 17 かつては土佐藩と呼ばれた〇〇〇県
- 19 もっと大きな火をおこすための元
- 21 投げ捨てること。事業所ごみは定められた捨て方をしないと不法〇〇〇になります
- 22 ペットボトルなどには、再生〇〇〇として回収できるように識別マークが付けられています
- 23 7時ちょうど〇〇の列車を予約した
- 24 出かける〇〇があるからついでに済ませてこよう
- 26 「3R」政策の一つ。集められた廃容器などを再商品化すること
- 29 スニーカーもこれの一つ
- 31 体積の単位。ごみ袋のサイズにも使われています
- 33 SDGsの目標5は「〇〇〇〇〇〇平等を実現しよう」
- 34 小学校の〇〇〇〇分けで友だちと離れちゃった

ヨコのカギ

- 1 神奈川県〇〇〇〇市ではプラスチック資源循環に向けたプロジェクト、愛称「かわプラ」を推進しています
- 2 あれとこれとの違い
- 3 〇〇〇に乗ったらきちんとシートベルトを締めましょう
- 5 ワイン〇〇〇〇はワインの貯蔵庫です
- 6 鶴は千年〇〇は万年
- 7 月の初めの日
- 9 〇〇〇〇〇の次の日は日曜日
- 12 ドライバーで回します
- 13 小学校の〇〇〇〇の時間に、空き容器を利用した工作をしました
- 15 タンポポの〇〇〇〇をふーっと吹き飛ばす
- 18 〇〇〇〇絵 〇〇〇〇離れ
- 20 365日でいくらと定めた利率
- 21 日本酒を入れる口が細くなった器
- 22 お祝いのことば
- 23 焼け尽くしたあとに残ります
- 25 コンピュータ〇〇〇〇〇〇の侵入を防ぐためのソフトをインストールした
- 27 生野菜にドレッシングをかけていただきます
- 28 マリン〇〇〇〇は船員さんなどの服装をイメージした装い
- 30 歩行を助ける棒
- 32 十二支の3番目

リサイクルでつなぐサステナブルな未来
容協ニュース No.99 2025年5月発行

編集・発行：公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-14-1 郵政福祉琴平ビル 2階
(企画広報部)tel.03-5532-8610 fax. 03-5532-9698
URL : <https://www.jcpra.or.jp/>

●禁無断転載



この用紙は、FSC® 認証材および管理原材料から作られています。

パズルの答えとecoワードの解説はコチラ



SNSのフォロー、登録はこちら

